

このシートは 3 年間使います

## 「福山中・高等学校で育みたい資質・能力」ルーブリック (目標達成度の評価表)



福山中高  
イメージ  
キャラクター  
いちかちゃん

(1) 表中の①～⑥は、皆さんが「21 世紀の社会で活躍する」ために、学校内外の授業や活動を通して特に身につけてほしいと考えている資質・能力です。

①～⑥の各項目 (3 つの能力と 3 つの資質) について、レベルごとの説明文を参考にして、あなたが現在到達していると考えられるレベルの□に大きな✓をつけてください。

その後、下記の「レベル記入欄」にそれぞれのレベルを数字で書き込んでください。(どれにも当てはまらないと思う場合は「1」をマークしてください。)\*裏に用語の説明があります。

本校で育みたい「3 つの能力」と「3 つの資質」	【能力 (スキル)】									【資質 (気質・特性・情意・態度)】									
	①情報整理力			②表現力			③課題解決力			④協働			⑤自他の尊重			⑥チャレンジ精神			
	◆課題解決や新しい価値を創造するために必要なデータや情報を分析・整理することができる。			◆課題解決のために必要な基礎的な知識や技能を創造的・探究的に活用・表現することができる。			◆様々な場面で課題を発見し、最適解により近い解決方法を見つめることができる。			◆価値観の多様な他者と協働して、集団や社会に貢献し解決しようとしている。			◆個人的・社会的責任を重んじ、価値観の多様な他者を尊重するとともに自己肯定感を高めようとしている。			◆高い志を持ち、様々な場面で課題解決のために新しいことや困難なことに自ら挑戦している。			
レベル 1	□テーマに関して与えられたデータや情報をおおよそ理解できる。			□自分が学んだことを(原稿などを)読んで伝えることができる。			□自己の生活や社会などについて考えたことがある。			□他者と一緒に活動している。良い関係を話している。			□自分のことは考えている。			□人から指示されたことはやっている。			
レベル 2	□テーマに関して与えられたデータや情報の要点を正確に理解し、人に説明することができる。			□学んだことに加えて、他者の意見・アイデアを活用できる。自分の言葉で発表や説明ができる。			□自己の生活や社会などについて、改善したい(追究したい)ことが1つ以上ある。			□個の責任を果たし、全員が目標達成をするために、チームメンバーに助けを求め、かつ支援をしている。			□人からの指示を待たずに、他者に迷惑をかけないようにルールやマナーを守って責任を持って行動している。			□人からの指示を待たずとも、自発的に行動(学習)している。			
レベル 3	□与えられた情報に加え、テーマに関連するデータや情報を自分で書籍やネット等で検索しおおよそその特徴を理解できる。			□複数の意見・アイデア・計画を合わせて、より良いものを作ることができる。それを相手に分かりやすい方法で伝えることができる。			□地域や国際社会について自ら解決したい課題を見つけている。課題の原因を自ら調査・探究している。			□課題解決に向けてチームメンバーに自分のやる気を示したり、他者の考えを認めたりしている。			□地域やグローバル社会の一員として、個人的・社会的責任を重んじ、他者を尊重している。			□人からの指示を待たずとも、(自分がすべきことに加えて)新しいことや困難なことに挑戦している。			
レベル 4	□既存の情報と自分が集めたデータや情報を見て特徴を正確に理解し、その資料を「分類・比較・対比」などしてまとめられる。			□独創的なアイデアや計画を創造し、校内で分かりやすく説得力のある提案・発表ができる。			□地域や国際社会について改善・解決すべき課題を見つけ、調査・探究して解決案を提案する。解決のために行動している。			□課題解決に向けて計画を示したり、他者の考えを肯定的に受け入れたらしている。対話を通して新しい考えを蓄積し広げている。			□地域やグローバル社会の一員として、個人的・社会的責任を重んじ、他者を尊重するとともに、自己肯定感を高めている。			□志を持ち、課題解決のために自ら新しいことや困難なことに挑戦している。			
レベル 5	□課題解決や新しい価値を創造するために効果的な資料を複数集め、正確に分析・整理し、「分類・比較・対比」に加え「予測・提案・創造・発明」などして新しい情報を生産している。			□誰もやっていないアイデアで多くの人に影響を与える計画を立て実現しようとする。校内外で巧みな表現(ジェスチャー・声・文章等)で内容を発信できる。			□地域や国際社会で見つけた課題の原因を追及し、実行可能性や解決のメリット・デメリットも含めて様々な視点から改善策を提案する。課題解決のために他者を巻き込んで行動している。			□課題解決に向けて、新しい提案や別の考えを示し、集団のやる気を高めている。また、集団が乗り越えたレベルで課題を完成するのを率先して助け、社会に貢献している。			□地域やグローバル社会の一員として、他者と知識・経験・考えを持ち寄り、学校内外や社会に貢献するようアイデアなどを活用、改善しようとしている。			□理想を追求し高い志を持ち、様々な場面で課題解決のために新しいことや困難なことに自ら挑戦している。			
レベル記入欄	4年	5年	6年	4年	5年	6年	4年	5年	6年	4年	5年	6年	4年	5年	6年	4年	5年	6年	
	春																		
	秋																		
	冬																		
(2) 項目																			
本人	4年	組	番	5年	組	番	6年	組	番	名前							男	女	部活動

(2) 評価レベル「4」「5」を選んだ人は、その項目の能力や価値を特に伸ばしたと考えられる活動や場면을「(2) 項目」欄に「具体的に」記述してください (5W1H をできるだけ含めて)。

例) ●教科や総合学習(活動や取組) ●校内外の自主研究・活動(ボランティア等) ●行事(文化祭・体育祭・修学旅行等) ●生徒会活動 ●部活動 ●定期テストやパフォーマンステスト ●資格・試験 ●留学 他

変容につながる 16 のアプローチ—SDGs を活かした学校教員の取組—  
参考資料

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU） 2019 年度ユネスコ活動費補助金  
「学校教員による持続可能な未来の担い手を育むカリキュラム・教材開発事業」